

公益財団法人日本リトルリーグ野球協会  
2016年度臨時理事会議事録

- 1、開催日時 2016年10月12日 午後2時～午後3時30分
- 2、開催場所 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー8階  
ジャパンベースボールセンター会議室
- 3、出席者 理事総数（8名）  
出席理事（7名）  
織田洋文 近藤憲彦 坂谷内実 寺澤明子  
常田昭夫 三田正志 森嶋敏仁  
監事総数（2名）  
出席監事（1名）  
荒井伸
- 4、議長 代表理事 坂谷内実（会長）
- 5、決議事項  
第1号議案 DA（地区責任者）選定の件
- 6、議事の経過の要領及びその結果  
議長の坂谷内代表理事が議長席に着き開会を宣し、本理事会は定款第38条に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げ、次の議案の審議に入った。  
(1) 第1号議案 DA（地区責任者）選定の件  
議長は第1号議案を上程し、ADA（地区責任者補佐）の三田理事から米国本部の見解と対応などの報告を基に検討協議した結果、三田理事を現DA木村堅二氏の後任DAとすることが全会一致で議決された。  
DA選任の経緯は次の通り。
  - ・現DAの木村堅二氏（相談役）が健康上の理由等から2年以上、実務を担当できない状況が続いていた
  - ・そのため、本理事会では早急に新DAの選任作業に着手しなければなら

ないと判断。本年3月の定時理事会で日本協会内規案を作成することにした

- ・作成された内規案は、同5月の定時理事会で再任に関する条文を追記することで承認され、この内規により本理事会がDAの選任を行うことになった
- ・本年8月の世界選手権大会の出張期間中に三田理事が米国本部役員、P・ウイルソン副会長らに国内DAの現状と選定作業の状況を報告
- ・その結果、米国本部は日本の状況を理解したうえで、DAは当該地区で選任・任命することに問題はないとの見解を得た  
以上の結果、本理事会で三田氏を新DAとすることに全員異議なく、これを承認した。

新DAの任期は本日から2年。内規も本日付けからの施行とした。

なお、米国本部では

- ・木村氏に名誉DAを贈呈したい
- ・上記の件と三田理事の新DA就任の件と合わせ本年度のアジア太平洋地区代表者会議（11月、香港）で通知する、との判断を下した。

## 7、報告事項

### (1) 2016年度主要大会の総括

森嶋理事より別紙資料の通り、日本協会主催大会の参加状況とその成績結果の説明がなされた。

### (2) 規則違反の報告について

坂谷内会長より別紙資料の通り報告がなされた。

- ①本年の全日本大会連盟予選で年齢基準を超えた選手が出場していた事が当該連盟から、報告があった。この件は世界大会につながる連盟の予選で規則遵守の徹底が行われていなかったという杜撰な運営と対応によるもので、当該連盟を厳重注意とし、その一方で、全連盟に対し改めて規則遵守の徹底を通知する。
- ②リーグ指導者の子どもに対する暴力行為の通報が日本協会に地方自治体児童センターからあり、当該連盟に事実関係の調査を指示した。その結果、当該連盟から暴力行為が確認さ

れ、当事者である指導者、リーグ役員を除名処分とし、リーグには適正な役員との交代を指示した、との報告書が提出された。

(3) 主催大会以外の大会について

坂谷内会長から、本年度新設された「AIG プレゼンツ MLB カップ 2016」大会結果の報告がなされた。また、来年度開催に関して、主催者の MLB から、投手の変化球規制の要望があった。これについてはその是非を含めて MLB 側と慎重に協議していきたい。

また、アンダーアーマー大会については岡田理事の報告書（別紙資料）を基に報告がなされ、来年度大会もリトルリーグから 3 リーグの参加を目指したい。

以上の説明がなされた。

(4) その他

常田理事から、本塁・一塁間の走者フットラインの幅について、従来は 3 呎（約 91 ㌢）としていたが米国本部への確認で 2 呎（約 61 ㌢）が正しいことが判明した。人工芝球場など既存のライン（線）が消せない場合もあり、あくまでも「原則として」の注釈で各連盟には早急に通達する。

これらはいずれも了承された。

以上をもって本日の議事は終了したので、議長は午後 3 時 30 分に閉会を宣し、解散した。